

コンサルタント等契約（業務実施現地滞在型）（2025年8月27日）

注1）これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2）プレ公示段階での質問回答実施は業務実施契約のみとなります。単独型は対象外としておりますのでご注意ください。
また、質問回答以外のお問い合わせについては、公平性を期するため受付しておりませんことご了承願います。

注3）公示日（予定）の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日（予定）にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4）コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報＞お知らせ」を適宜ご確認ください。（<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>）

注5）2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。（https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html）

	調達管理番号	25a00519000000	調達件名	ウズベキスタン国教育の質向上のための教育調査・評価能力強化プロジェクト（チーフアドバイザー業務・制度構築支援）（現地滞在型）		
公示日（予定）		2025年9月10日	担当部課	人間開発部基礎教育グループ	業務種別	業務実施契約（単独型）－専門家業務
履行期間（予定）		2025年11月4日 ～ 2029年1月29日	選定方法	企画競争		
業務内容	【背景】ウズベキスタンは教育改革を進め、教員の職能開発や子どもの学力調査等による教育評価の強化を重視している。就学前・学校教育省は日本の教育の質や授業研究に関心を示し、日本政府に協力を要請。それを受けてJICAは情報収集・確認調査等を実施した。その結果、教育省の推進する各種の教育施策・事業が児童生徒の学びにもたらす効果、課題、改善策について、学校現場で仮説を立てて検証・評価し（フィールド・リサーチ）、その結果を今後の事業・戦略に活用することがより重要であることを確認した。本事業を通じ、教育施策・事業のPDCAサイクルの強化を図ることが期待される。 【目的】本案件におけるチーフアドバイザー／制度構築支援の役割は、学校現場でのフィールド・リサーチを通じて、教育施策・事業のPDCAサイクルにおける「評価」と「改善」機能を強化すること。当該プロセスと実施体制を整え、プロジェクトのマネジメントと影響力を高め、先方教育戦略に反映させる。これにより、将来的に児童生徒がより効果的な教育サービスを受けられる環境の整備を目指す。 【業務内容】以下4つの成果発現のための活動を含む。 （１）教育評価プロセスと実施体制の見直し：現状の情報収集・分析、教育評価ガイドライン作成、実施体制に含まれる関係者への支援 （２）フィールド・リサーチ手法の構築：ハンドブック作成、フィールド・リサーチチーム（パイロット校教員・研究者・行政官）が行う調査の監督 （３）調査結果に基づく改善提案のフィードバック：改善提案書を取りまとめ、教育省上層部に説明する等 （４）教育評価者（フィールド・リサーチャー）の能力向上			留意事項	【業務従事者の専門分野】本案件では統計的手法や社会調査手法、また制度構築に係る専門性を求める。 【人月合計】36人月 【渡航開始の目安】2026年1月上旬 【国際約束（R／D）締結状況】2025年8月済 【関連報告書公開情報】 ・ JICA「教育評価分野のニーズアセスメントのための情報収集・確認調査」業務完了報告書 【その他留意事項】プレ公示の内容は変更になる可能性があります。	